

既存制度のみに依拠しない
ソーシャルワーク実践と

既成概念を疑い、頭を切り替える
鍛えるコース

多機関連携による
ソーシャルデザインの往還

2025 年度 ソーシャルワーク実践力を鍛え、磨き上げる研修

出口の見えない
ケースに直面し、
孤軍奮闘している・・・

他分野と
連携した取り組みを
始めたい・・・

個人・家族・地域の
アセスメントに
自信がない・・・

他分野の課題にも
対応できる
ソーシャルワーカー
になりたい・・・



仲間どうしの「対話型演習」を通じて
ソーシャルワーク専門職としての力を徹底的に向上させる

・・・と、感じている今こそ
一歩先の実践を目指す3日間、ご一緒しませんか？
明日からの支援に、確かな視点と力を届けます。

講師
全国社会福祉協議会
中央福祉学院 主任教授
山下 興一郎



大学や現場（生活保護、困窮、児童、老人、障害、被災者支援、地域福祉領域）のケース検討会やグループスーパービジョンに参加した35年間の経験を活かしてこの鍛える研修を企画しました。皆さんにケース検討やグループスーパービジョンの方法、個と地域の一体的支援の奥行き、支援の有効性をライブでお届けします。

1992年4月全社協事務局入局。
児童福祉部、地域福祉部、高年福祉部、
企画部、政策企画部広報室長を経て、
2013年4月淑徳大学・大学院准教授。
2023年4月より現職。

継続

中央福祉学院
各研修修了
から
ステップアップ！

昨年度受講者の継続受講も推奨しています



社会福祉士短期養成課程、ふくし未来塾、
ファミリーソーシャルワーク研修会 等

【3日間コース】
（2日程／各3日間）

※同一プログラムで秋と冬の2回開催します。取り扱う事例は変わるので2回連続参加も可能です。

2025 年
秋日程 10月14日(火)▶16日(木)

会場 中央福祉学院 (ロフォス湘南)

2026 年
冬日程 2月13日(金)▶15日(日)

受講料 39,600円

定員 各回40名(定員に達し次第締切)

受講対象者

様々な分野でソーシャルワーク業務を担う現任者や管理職員など実践家（例：社会福祉施設、社会福祉協議会、行政（福祉事務所、児童相談所、こども家庭センター、基幹型相談支援事業所等）、学校、医療機関、更生保護など）

既存制度のみに依拠しない
ソーシャルワーク実践と

既存概念を疑い、頭を切り替える 鍛えるコース

多機関連携による
ソーシャルデザインの往還



受講者の声

- 深くアセスメントをする大切さを学ぶことができた。
- クライアントに対し自分が伝えることだけでなく、クライアントが私たちに働きかけてくるような専門的援助関係を築く視点は、今までの自分にはなかった。
- 地域生活課題を解決するには地域づくりが不可欠だと学んだ。
- 心すすまざるクライアントへの支援のネットワークの作り方を学んだ。
- グループスーパービジョンやケース検討会の演習では、参加者の質問や意見からハッとさせられた。

社会福祉法人
全国社会福祉協議会
中央福祉学院

口フォス湘南

お問い合わせ先
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院
〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44
✉ z-gakuin@shakyo.or.jp
☎ 046-858-1355 (平日 9:30 ~ 17:30)
URL <https://www.gakuin.gr.jp/>

詳細はこちら



中央福祉学院

検索